

## 第四北越銀行と

## ポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資契約を締結

2025年3月18日

高野不動産株式会社

高野不動産株式会社は、2025年2月に株式会社第四北越銀行と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による融資契約を締結しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が「環境・社会・経済」に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、事業活動の継続的支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、開示情報に基づきモニタリングを行い、エンゲージメントを通じて活動を支援していくことが最大の特徴です。

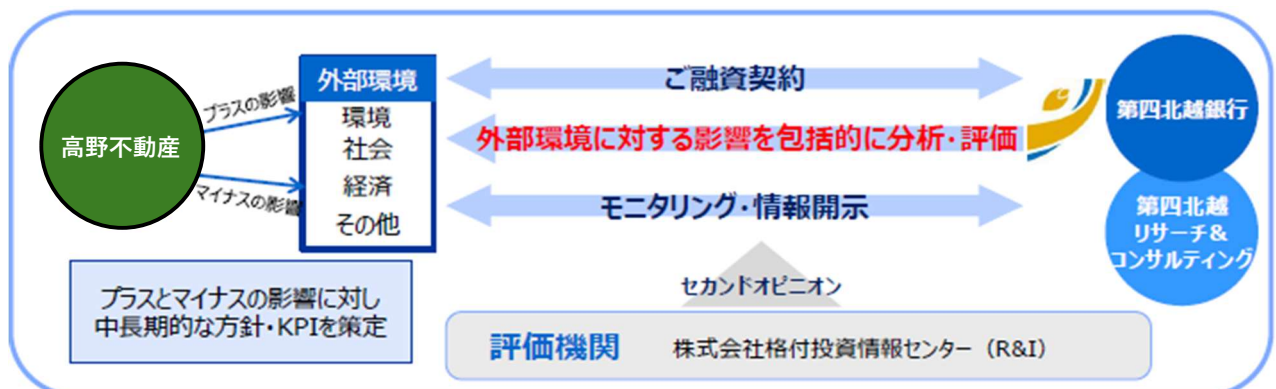
弊社はポジティブ・インパクト・ファイナンスの第三者評価を通じ、弊社の経営理念を基軸とした「多様で働きがいのある職場環境づくり【人】」、「持続可能なまちづくりへの貢献【地域】」、「環境に配慮した取り組み【社会】」を重要経営指標（KPI）に設定し、第四北越フィナンシャルグループの支援を受けながら、持続可能な社会の実現に向けた経営活動のさらなる深化を進めて参ります。

株式会社第四北越銀行のニュースリリースは[こちら](#)

第四北越リサーチ & コンサルティング株式会社による評価書は[こちら](#)

株式会社格付投資情報センターによる第三者評価は[こちら](#)

### ポジティブ・インパクト・ファイナンスのスキーム図



## SDGs 達成に向けた具体的な取り組み

テーマ	取組方針・内容	KPI（重要業績評価指標）	対応するSDGs
<p>多様で働きがいのある 職場環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別に関係なく、適材適所や有能な人材の積極登用を行う。</li> <li>女性の管理職への登用も推進し、政府が掲げる目標（2030年に30.0%以上）の達成を目指す。</li> <li>「健康経営法人認定」を取得し、会社として社員の健康づくりに積極的に関与していくことを明確にする。</li> </ul> <p>※健康経営優良法人認定制度：特に優良な健康経営（従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること）を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性管理職の割合 2026年4月時点：20.0% 2027年4月時点：23.0% 2028年4月時点：25.0% 2029年4月時点：27.0% 2030年4月時点：30.0%</li> </ul> <p>※数値は高野不動産㈱および㈱高野不動産販売2社の合計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営優良法人の認定を 2027年4月までに取得し認定を継続する。</li> </ul>	
<p>持続可能な街づくり への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性が良く、消費者ニーズの高い立地において、新たに自社賃貸物件を建設していく。</li> <li>民間企業の一括借り上げ（社宅対応）のニーズを探り、適地の確保と新規建設に努めていく。</li> <li>老朽化した物件について、周辺の賃貸物件の状況を勘案しながら、消費者ニーズに合致したリフォームやリノベーションを必要に応じて行う。</li> <li>消費者のニーズに合った賃貸住宅の新築物件や改装工事を手がけていくことで、地域全体の住環境の改善とともに、定住人口の増加につなげていくことを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社賃貸物件戸数 2026年4月時点：145件 2027年4月時点：150件 2028年4月時点：155件 2029年4月期以降：モニタリング時に目標再設定</li> <li>自社賃貸物件戸数における空室率を每期15%以内に抑える。</li> </ul>	
<p>環境に配慮した取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社所有ビルに設置している「キュービクル」※について、老朽化しているものから順次入れ替え、キュービクル内の変圧器やコンデンサを高効率なものに更新するなどして電力使用量の低減を目指す。</li> </ul> <p>※キュービクルとは：発電所から送られてくる高圧の電気を、建物内で使用できる低圧の電気に変圧する設備。正式名称は「キュービクル式高圧受変電設備」。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2026年4月期以降、キュービクルを每期1台ずつ入れ替える（現在設置台数：23台）。</li> <li>2029年4月期以降は、制度改正および補助金制度の動向を確認しながら、モニタリング時に新たに目標設定する。</li> </ul>	 

以上